

平成29度

社会福祉法人恵正福祉会  
とごしの杜保育園

事業報告

## 1. 平成 29 年度概要

平成 28 年 4 月に開園し、設立 2 年目となる。社会福祉法人恵正福祉会の理念「すべての人とともに歩む」に基づき、保育方針、保育目標を掲げ、指導計画を立案し、保育所の運営を進めてきた。今年は半数近くの常勤職員の入れ替わりがあり、年度当初はクラス運営をスムーズに行うために職員間のコミュニケーションが図れるよう職員会議の時間設定を工夫したり、クラス会議、非常勤会議、ブロック会議などを設定し、より多くのメンバーの意見を取り上げられるようなシステム作りに努めた。また、常勤職員も非常勤職員も経験年数が浅く、有資格者であっても短時間非常勤であることで、保育のスキルアップをするために、研修に多くの時間と経費をかけ保育内容の充実を図るように努めた。保護者に対しても、伝達漏れ等のないように心掛け、保護者の信頼関係の構築に努力してきた結果年度末に行った第三者評価や保育行事後のアンケートに好評価な意見を得られた。厳しいご意見もあったが、次年度に向けて職員間で話し合い丁寧な対応をしていく所存である。さらに、わが園は、住宅密集地の中の保育園ということもあり、近隣住民との円滑なコミュニケーションに配慮し、町会長を通し、保育園の状況を理解して頂くために避難訓練等の際は近隣住民へのお知らせをビラ配布するなどして地域にアピールしていく努力を心がけてきた。その結果、近隣からの苦情電話は減少し、挨拶をにこやかに交す機会が増えてきているように感じる。今後も引き続き、地域に必要と認められる保育園の存在をアピールしていきたい。

職員の意見を聞き取り、園の方針を伝えられるよう職員と園長の個人面談を年間 2 回実施した。2 回目の面談は主任も同席し次年度に向けての意思も確認した。面接前に自己評価、年間目標等を記録するプリントをここに渡し、記入してもらった評価票を元に面接を進めていくようにした。

保育業務を効率的に進めるために保育ソフト導入を計画し作業を進めている。

## 2. 運営

### (1) 職員(平成 29 年 4 月 1 日現在)

(正規職員)

施設長	1 名
保育士	13 名
看護師	1 名
事務員	1 名

(非常勤職員)

保育士	4 名
保育補助	4 名

## (2) 児童状況 定員 108 名

- ① 開園 2 年目であるため 0～3 歳児までは定員に達したが、4 歳児 2 名欠員、5 歳児クラスに至っては年間を通じて 5 名の在籍であった。

	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計
定員	12 名	15 名	18 名	21 名	21 名	21 名	108 名

### ② 月ごとの児童数

0～3 歳児クラスは安定していた。3 歳児クラスは 6 月末退園児 1 名で 7 月 1 日 1 名入園し、0 歳児クラスは 7 月末退園児 1 名で 8 月 1 日 1 名入園するなど園児の入退園はあるが、欠員状態にはならなかった。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
0 歳	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
1 歳	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2 歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
3 歳	21	21	21	21	21	20	21	21	20	21	21	21	250
4 歳	19	19	20	20	19	19	19	19	19	19	19	19	230
5 歳	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
計	90	90	91	91	90	89	90	90	89	90	90	90	1080

## (3) 延長保育事業利用状況

- ① 日々の延長利用者は 2～3 名程度の日が多いが、19：30 以降は 1～2 名になる。4 歳児クラスの延長児がほとんどだが、不定期に 0、1 歳児が 1～2 名入ることもある。

- ② 事前の利用連絡が無く延長に掛かる特定のご家庭もあった。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利用延人数	16	19	14	16	19	20	20	18	18	15	26	26	227
内 0 歳児人数	0	2	1	1	2	4	3	3	3	2	6	6	33

## (4) 安全管理・防災・防犯対策

- ① 毎月 1 回防災避難訓練の実施をした。昨年度の反省を活かし、出火場所を調理室・事務所・近隣など変えて、避難経路や避難階段に変化を持たせる工夫をした。また、不審者対応の訓練と起震車体験等を訓練に組み込んだ計画をし、実施した。次年度の課題として、いざという時にだれでも落ち着いた対応が取れるよう職員に避難誘導路、避難口の場所、消火器置き場と使い方等の周知徹底をすることが必要である。

### ② 安心伝言板の登録

有事の際の連絡手段として「安心伝言板」を導入しているが、保護者・職員共

に未登録者が今年度もいるため、さらに個々に声をかけ、周知・登録の徹底と利用訓練を行い意識を高めていく必要がある。

### ③ 防災備蓄品の確保

施設機能強化の補助金を利用し、乳児用防災頭巾、職員用ヘルメットを人数分確保し、身を守る体制を整備する。また、避難の際、非常用外階段を使うためには、避難靴の整備が必要と考えられ、今後検討していきたい。

## (5) 職員研修

### 園内外及び二園合同研修

- ・今年度は職員の半数以上が新任ということで4月1日に行なった新任研修を始めとして、職員全体の保育スキルアップ及び職場を円滑に運営していくためのコミュニケーションを図る研修を計画した。また、保育指針改定に伴い改訂のポイントを学ぶ外部研修にも多くの職員を派遣し、学びの機会とした。
- ・来年度は29年度の学びを現場での実践に活かしていくよう勧めていきたい。

#### 【二園合同研修】2回（7月29日・11月18日）

＜テーマ＞保育の質の向上を目指して

＜内容＞担当クラス年齢別ディスカッション・季節に合った手遊びパネルシアター・ロールプレイ研修等を行った。

#### 【外部研修】

- ・保育指針改定を踏まえて（5月17日）（11月14日）
- ・事例から学ぶ新保育指針及び幼稚園教育要領（9月20日・11月29日）
- ・噛むこと、食べる機能を知る（11月20日）
- ・アレルギー疾患の基礎知識・食育保育（7月14日）
- ・食物アレルギーに適切に対応するために（10月13日）
- ・アレルギー対応に組織的に取り組むために等（12月1日）
- ・保育力アップ研修（6月23日） ・科学遊び（7月4日）
- ・記録の取り方（9月15日） ・初任者研修（1月16日～17日）
- ・特別支援保育継続4回研修（5月19日・6月22日・7月12日・9月28日）
- ・特別支援保育研修（11月28日）
- ・事故防止のための講習会（12月15日・1月19日）
- ・子どもの虐待の基礎知識（9月15日）
- ・福祉施設における大規模災害（9月7日）
- ・チームリーダー重点テーマ強化研修（12月13日～14日）
- ・社会福祉施設職員研修（10月5日～6日）
- ・保健医療学会（12月14日）
- ・保育事業者セミナー（10月26日・11月2日）

- ・保育士などの処遇改善等加算セミナー（9月20日）
- ・パワーポイント研修入園説明会編（9月6日）

#### 【園内研修】

- ・乳幼児の発達の道すじと保育のポイント（5月2日）
- ・リズムあそび①乳児編（7月20日）②幼児編（9月21日）
- ・ノロ・ロタ対策感染症知識向上・嘔吐物の処理について（10月11日）  
感染症の拡大を防ぐため保護者への注意喚起の仕方や保育者の医療に対する知識・心得等について看護師を講師として学習し、嘔吐処理の方法の実践講習を行った。

### (6) 運営の組織化

#### 【会議】

- ①職員会議 月1回（夜18:30～19:30 第4木曜）
- ②月カリキュラム会議（13:30～14:30 第4水曜）
- ③毎週昼打ち（13:30～14:30）（夜会議のある週はカリキュラム会議）
- ④クラス会議（不定期園児午睡時間）
- ⑤非常勤会議（不定期 12月20日より始める）
- ⑥管理者部門会議（不定期ではあるが、職員会議の前に問題を整理）

#### 【書類管理】

- ①書類を分類し、ファイリングシステムとして整理する。
- ②書類の様式を整理し改正した。
- ③年間指導計画、月間指導計画の内容の見直しを1年間かけて行った。

## 3. 処遇

### (1) 保育

- ① 今年度も昨年に引き続き『天気の良い日は園外で』を合言葉に、近隣の公園、小学校、街中散歩など散歩に出て日の光を浴び、体を十分に動かして遊び、社会のルールを知らせる等できるように保育体制を整えてきた。
- ② 開園2年目で5歳児クラスは在籍5名のため年長児としての集団遊びを経験させたいことから近隣の保育園へ連絡を取り交流保育をお願いして実施した。
- ③ 幼児（3歳児～5歳児）は外部講師を依頼して教室活動として、英語教室・体操教室（月2回ずつ）を取り入れた保育を実施した。また、5歳児のみ、茶道教室を月1回実施した。
- ④ 朝夕の保育は子どもの人数に合わせ、異年齢の混合保育を実施し、8:30～18:00の時間帯は各年齢に合わせクラス保育を実施してきた。
- ⑤ 保育内容も音楽活動、制作活動、など各年齢に合わせた保育計画を立案し実

施してきた。

- ⑥ 外部団体の協力を得て、おはなし会など児童文化に触れる機会を設けた。園児もこあら広場参加の地域の乳幼児も目を輝かせて見聞きし、反応は良好であった。

## (2) 子どもの保護者への支援

- ① 年間2回の保護者懇談会を実施し、園からのお願いや園児の園での様子を伝え、保護者の意見や思いを聞き、家庭との連携を図るようにした。
- ② クラスごとに一定期間を決め、個人面談を実施し保護者と担任で個々の家庭の情報を交換し共通理解をするよう努めた。また、保護者の希望で必要に応じてその都度個人面談を実施し相互の気持ちの行き違いをなくすようにして信頼関係を築くように心がけてきた。
- ③ 児童相談所、品川区家庭支援課、保育課私立支援課の各担当者と連携を相互に取り合ってその都度支援に努めている。

## (3) 保健

- ①身体測定 毎月1回
- ②内科健診年2回（4月、10月）、0歳児健診月1回
- ③歯科健診年1回（6月）
- ④眼科健診年1回（7月）
- ⑤保健だより発行月1回
- ⑥職員健診（4月）
- ⑦職員検便（食事に関わる職員全員）毎月1回
- ⑧職員インフルエンザ予防接種（11月）
- ⑨保健衛生委員会 毎月1回
- ⑩感染症
  - ・インフルエンザ罹患数：12月1名、1月38名、2月4名、3月3名
  - ・手足口病罹患患者数：6月1名、7月28名、8月21名、12月1名
  - ・他感染症数：アデノウイルス：6月3名、7月2名、8月1名、9月1名  
プール熱：9月2名、11月2名  
溶連菌感染症：4月1名、5月2名、8月2名、11月1名  
12月1名、3月2名  
RSウイルス：6月5名、9月1名  
ヘルパンギーナ：6月1名、7月1名

## (4) 給食

- ・給食部門は、とうかいどう保育園と合同で安田物産に法人として委託した。調理はそれぞれの園で実施していく中で、両園で意見の食い違いが生じさせないた

めに今年度も引き続き、双方で話し合い調整する場として給食会議を月 1 回実施した。会議メンバーは、両園の園長と事務員、安田物産担当者 2 名により実施した。必要に応じて保育園現場の意見を反映するため主任や食育リーダーの参加を要請してきた。そのことにより職員の食育に対する意識が出てきた。保育現場と給食提供側で話し合うことで給食内容の充実にもつながってきている。今後も旬の食材を使い、美味しさと楽しさが園児に伝わるような給食の提供が出来るように努めていく。

・アレルギー児の給食対応は品川区に準じて行ってきた。「アレルギー児の対応」のマニュアルに従って、医師の診断書をもとに保護者と面談を実施し、給食を提供してきた。

#### (5) 主な年間行事

月	日	保育・保健・行事・地域むけ	保護者会
4	7	入園、進級の集い	20 日乳児・21 日幼児
5	2	子どもの日の集い	
7	3～	水遊び	
	7	七夕の集い	
	1 3	なつまつり	
	2 6	お店屋さんごっこ	
9	1 5	おじいちゃん・おばあちゃんと遊ぼう会	個人面談
	2 3	親子で遊ぼう会（運動会）	
10	2 8	芋掘り遠足	
	3 1	ハロウィン	
11	8	やきいも会	
12	1 6	おたのしみ会	
2	2	節分の会	
3	2	ひな祭り会	19 日乳児・20 日幼児
	9	卒園式	

#### 4. 地域交流事業

「とごしの杜保育園」の 3 階ホールに保育園開園と同時に『地域子育て支援ひろば コアラ』として開設して 2 年目となり、開放日を月曜～金曜の朝 10 時～午後 3 時まで設定し、実施してきた。地域の利用者に口コミで広がり、利用数は増えてきている。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用親数	118	83	93	77	90	97	119	93	115	84	118	121	1208
子ども数	118	84	96	83	93	101	128	100	115	89	123	123	1253

## 5. 環境整備

備品、消耗品の在庫を整理、整備を行った。保育環境、衛生環境を考え、園児にとってより良い保育実践を行えるように備品消耗品購入計画を立て、環境整備を行っている。また、整理棚に品名を表示し、誰が見てもすぐに必要なものが取れるように現場の意見を取り入れながら進めている。

## 6. 保育中の事故怪我による受診状況

- ・0歳児 歩行のバランスを崩して倒れ、後頭部打撲（1件）前場と顎を打ち歯科受診（1件）
- ・1歳児 肘を亜脱臼（1件）
- ・2歳児 肘を亜脱臼（1件）、自動ドアに手を引きこまれ右手挟まる（1件）、顔に引っかき傷（2件）
- ・3歳児 後頭部打撲（バランス失い30cmの高さから落下・公園で転倒各1件）肘を脱臼（2件）顔に引っかき傷（2件）
- ・4歳児 右目瞼を切り傷2針縫（1件）左耳に粘土を入れ耳鼻科受診（1件）

以上年間の怪我による医療機関の受診があり、その都度職員で事故原因を検証し、再発防止に努めている。

## 7. 福祉サービス第三者評価受審

平成28年度29年度 2年連続 第三者評価を受ける。評価機関「株式会社 福祉規格総合研究所」に依頼した。78世帯中47世帯が回答し、60.3%の回答率であった。集計結果が届き次第、その結果を玄関に冊子として置き、保護者に提示する運びになっている。

## 8. 苦情解決窓口

- ・保護者の要望・意見を聞き取りやすくするために設置したメッセージボックスを活用して寄せられたメッセージを職員と協議し、早い対応を掛けている。
- ・住宅密集地の中の保育園という立地から、「園児の声がうるさく迷惑している！」「園児の送迎の際の保護者と園児の声がうるさい。」「駐輪のマナーが悪い。」等の苦情電話が年度当初特定の方から数件入っていたが近隣へのあいさつ回りをするなど園側からアプローチをするなどの対応をすることで苦情電話はなくなってきた。利用者側である保護者に対しては地域の実情を保護者懇談会で話したり、『お願い』のポスターを掲示したり、現場で注意の声を掛けたり、玄関に施設長が不定期に立つなどして対応してきた。常時、窓とレースカーテンを閉めることは継続して行っている。